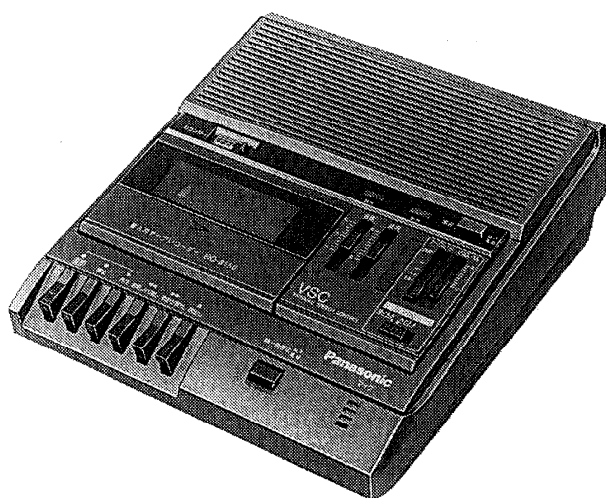


盲人用テープレコーダー
品番 RQ-8150
取扱説明書



このたびは、盲人用テープレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日」などの記入を確かめて、日本点字図書館 用具事業部からお受け取りください。

保証書別添付

上手に使って上手に節電

Panasonic

もくじ

必ずお守りください	2
各部のなまえ	3
録音する	4
テープを聞く	8
別売り品と組み合わせて使う	12
使用テープについて/お手入れ	13
故障かな!?	14
アフターサービス	15
定格	裏表紙

RQTK0021-T

⚠️ 必ずお守りください

電源は、AC (交流) 100Vで



電源コードは正しく取り扱ってください。

取り扱いを誤ると危険です。

- ぬれた手でさわらない
- 重いものを載せない
- 無理に曲げない

加工・改造・異物の挿入はしない



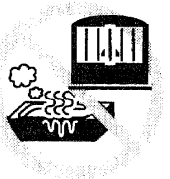
感電や故障の原因になります。特にお子様にはご注意ください。

水・薬品はかからないように



引火、火災や感電のおそれがあります。

設置は安定した、風通しのよい所に



故障の原因になりますので、次のような所は避けてください。

- 湿気の多い所
- 直射日光のあたる所など、温度が高い所
- 倉庫などほこりの多い所

夏の閉め切った車内に放置しない

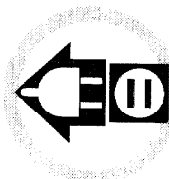


100°Cに達することもありますので、キャビネットが変形、変色したり、破損するおそれがあります。

磁気を帯びたものを近づけない

スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく働かなくなることがあります。

長期間使用しないときは



思わぬ事故を避けるため、電源コードをコンセントから抜いておいてください。

万一、故障が起きたら



電源コードを抜き、日本点字図書館 用具事業部にお問い合わせください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、イヤホンをご使用になるのも一つの方法です。



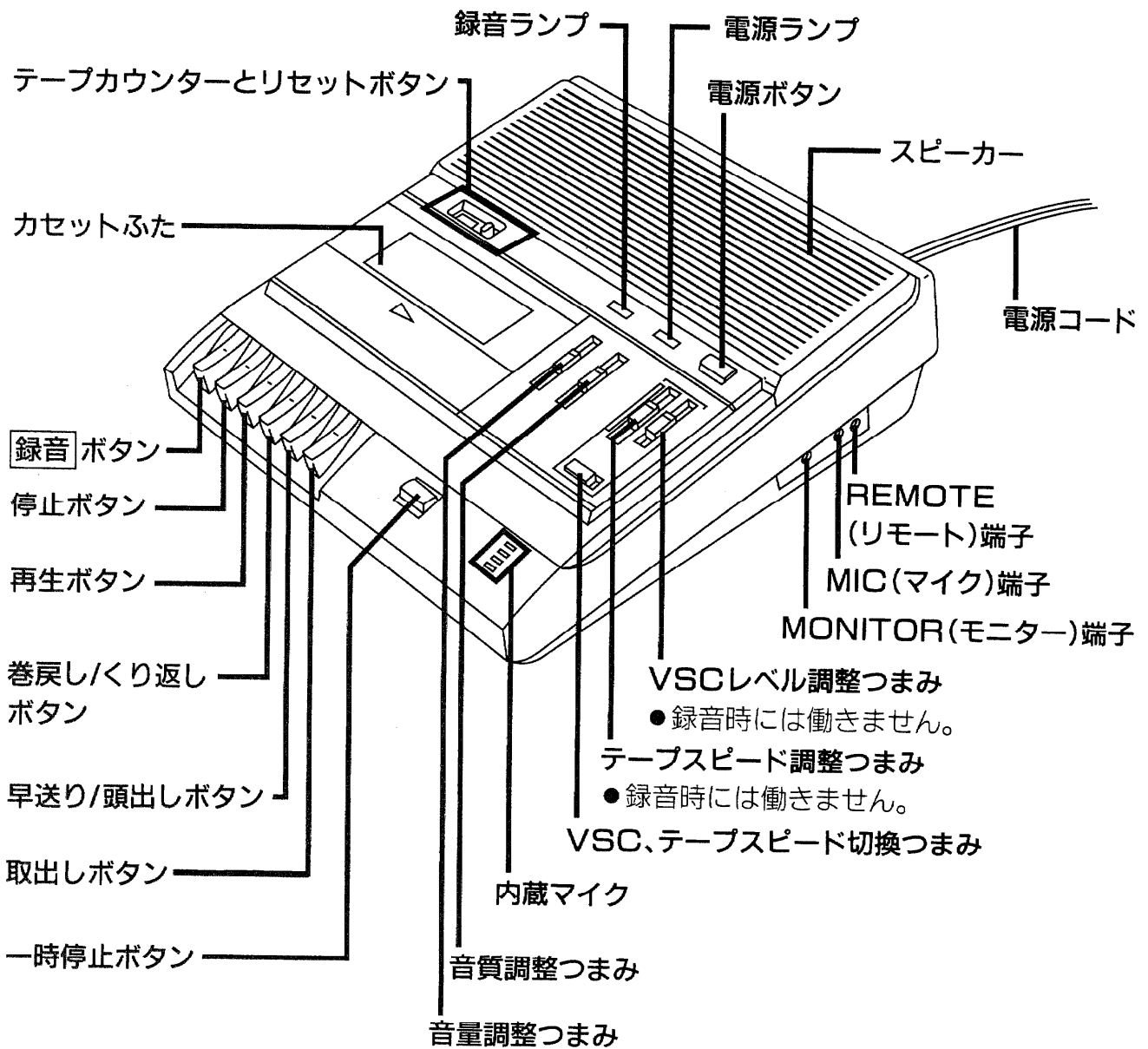
音のエチケット
シンボルマーク

ご不明な点は、社会福祉法人 日本点字図書館 用具事業部(〒169東京都新宿区高田馬場1-23-4、電話03-3209-0751)へお問い合わせください。

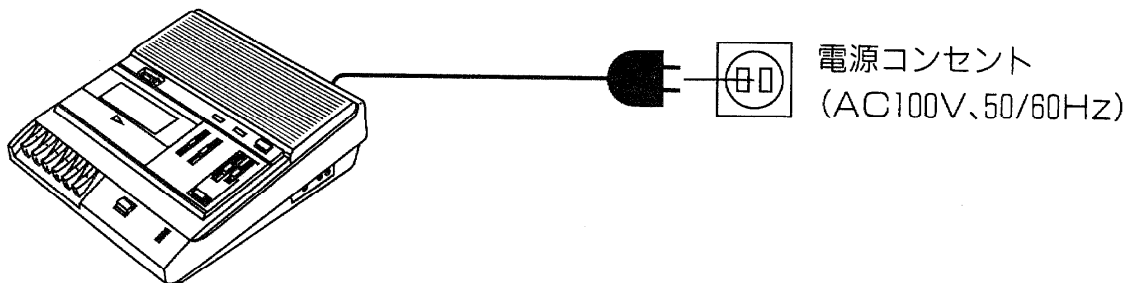
付属品

テレホンピックアップ(1)

各部のなまえ



電源の準備

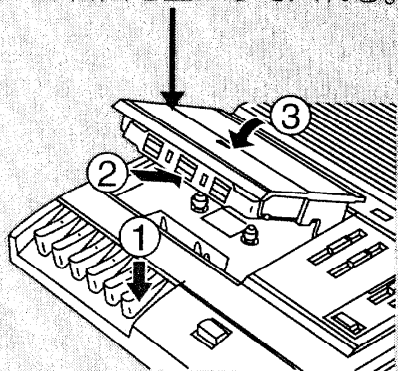


録音する

ノーマルタイプ(TYPE I)のテープをお使いください。

2 テープを入れる

録音面を上にして入れる。



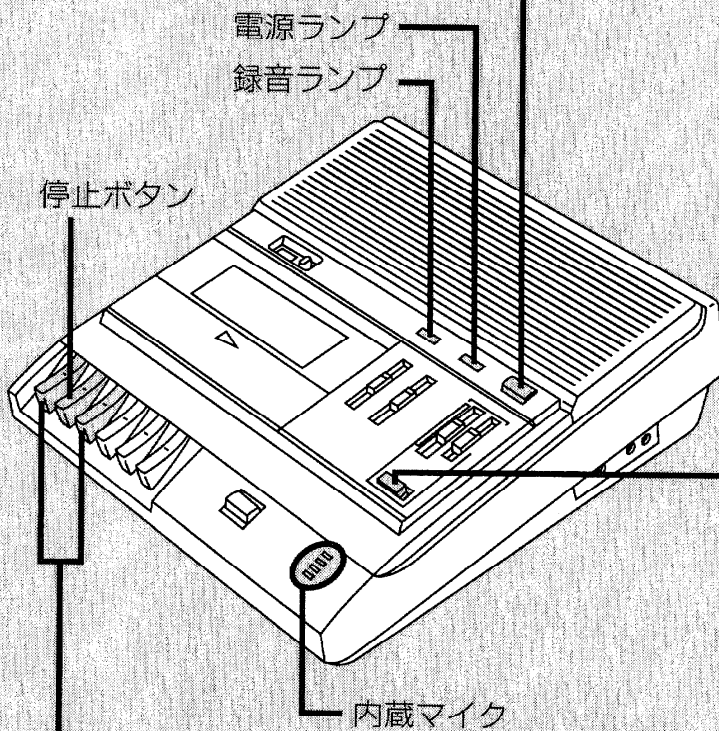
- カセットふたに添わせてテープを入れてください。

録音を止めるには

停止ボタンを押す。

1 電源を入れる

- 電源ランプが点灯。



4 録音ボタン、再生ボタンを同時に押す

- 録音ランプが点灯し、録音が始まります。
- 内蔵マイクに入る音声録音できます。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

自動録音調整回路が働きますので録音レベルの調整は不要です。

3 テープスピードを選ぶ

4.8 : 通常のスPEEDで録音するとき(4.8cm/秒)


2.4 : 長時間録音したいとき(2.4cm/秒)

- 60分テープで約2時間(120分)の録音ができます。

録音できるテープについて

Normal/TYPE I	○
CrO ₂ /TYPE II	×
METAL/TYPE IV	×


録音を一時的に止める

■一時停止 



押す。(一時停止状態)

■もう一度録音するには

■一時停止 



一時停止中に押す。

■録音中の音を聞くには

MONITOR端子にモノラルイヤホンを接続すると、録音中の音を聞くことができます。

- 音量、音質を変えることもできます。(録音される音には影響しません。)

ご注意

イヤホンを使っていてハウリング(ピーという音)が起きたら、イヤホンを内蔵マイクから離すか、音量を下げてください。

■オートストップ

録音、または再生中にテープが終端までくると、押し込まれていたボタンが自動的に戻り、停止状態になります。

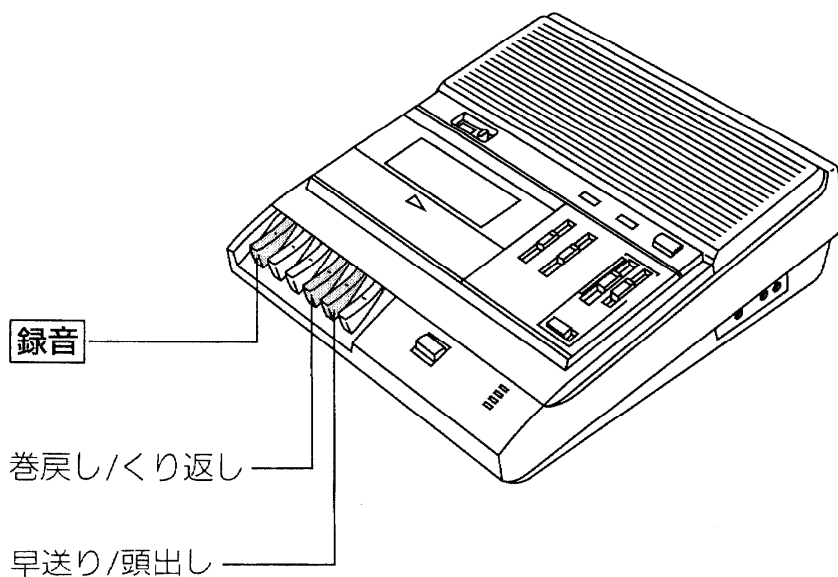
ご参考

- 録音済みテープにもう一度録音すると、前の録音が消えます。
- よりよい音質で録音したいときは、テープスピードを“4.8”に合わせて録音してください。音楽録音の場合は、4.8cm/秒をおすすめします。

ご注意

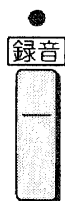
2.4cm/秒で録音したテープは、必ず本機で再生してください。一般のテープレコーダーの場合、テープスピードは4.8cm/秒です。

録音する



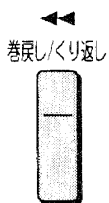
後追い録音する

録音したものの一部を修正するときに便利です。



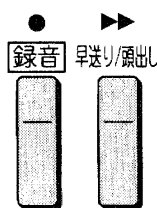
再生中 (9ページ参照) に押すと、その位置から録音でき、指を離すと再生に戻ります。

録音した音をすぐに聞く



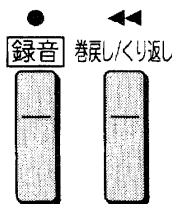
録音中に押すと **録音** ボタンだけが解除され、キュルキュルというモニター音を聞きながら巻戻しができます。指を離すとその位置から再生が始まります。

録音した内容を高速で消す



同時に押す。
早送りしながら、同時に録音内容が消えます。

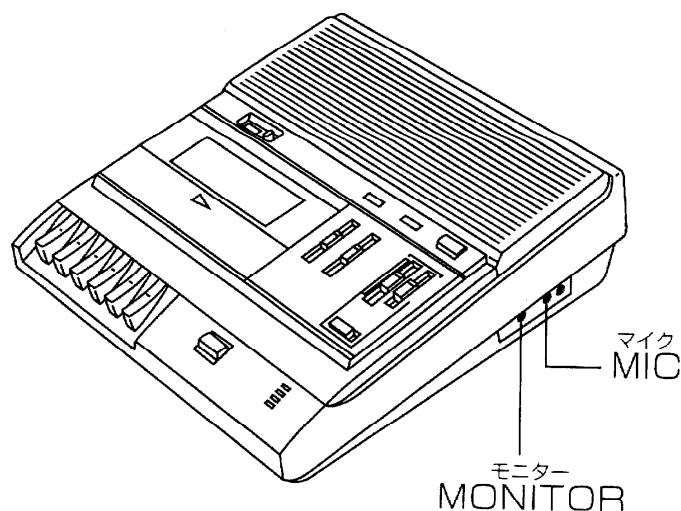
または



同時に押す。
巻戻ししながら、同時に録音内容が消えます。

ご注意

テープの端まで巻戻した後は、必ず停止ボタンを押して、押し込まれたボタンを戻してください。



テレホンピックアップの使い方

付属のテレホンピックアップは、電話での通話を録音するときに用いるほか、接話マイクやイヤホンとしても使えます。

■電話の声を録音するには

- ①テレホンピックアップをMIC端子に接続する。
- ②黒いパッドのついているほうが外側になるように、赤いリングを耳に入れて、受話器を軽く押し当てる。



- ③4、5ページの手順1-4に従い録音する。
 - 通話相手と自分の声が録音できます。

ご参考

付属の赤いイヤerpッドをリングにかぶせると、耳当たりがソフトになります。

■騒音の多い場所で自分の声だけを録音するには(接話マイクとしての使い方)

話し手の口元に近づけて使うように、特に設計されたマイクを接話マイクといいます。

- ①テレホンピックアップをMIC端子に接続する。
- ②4、5ページの手順1-4に従い録音を始める。
- ③黒いパッドのついているほうに向かって、口元から約2-5cm離して音声を入れる。
 - 口元から離しすぎると、感度が低くなります。

ご参考

- MIC端子にプラグを接続したときは、内蔵マイクからの録音はできません。

■テレホンピックアップをイヤホンとして使うには

テレホンピックアップをMONITOR端子に接続し、黒いパッドのついているほうを耳に入れて聞きます。

テープを聞く

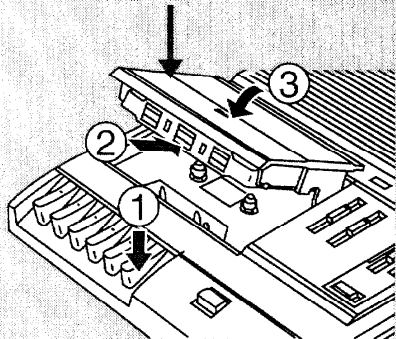
ノーマルタイプ(TYPE I)のテープをお使いください。

1 電源を入れる

- 電源ランプが点灯。

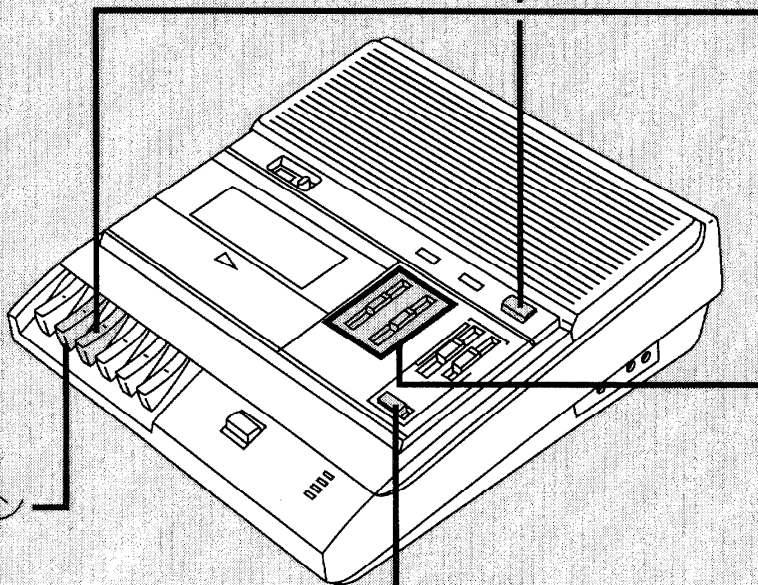
2 テープを入れる

再生面を上にして入れる。



- カセットふたに添わせてテープを入れてください。

停止ボタン



3 録音時のテープスピードに合わせてテープスピードを切り換える

4.8：通常のテープ

2.4：2.4cm/秒で録音されたテープ

テープを止めるには

停止ボタンを押す。

-4 再生ボタンを押す

-5 好みの音量、音質にする

再生できるテープについて

Normal/TYPE I	○
CrO ₂ /TYPE II	×
METAL/TYPE IV	×

使用後は



押して電源を切る。

- 電源ランプが消灯。

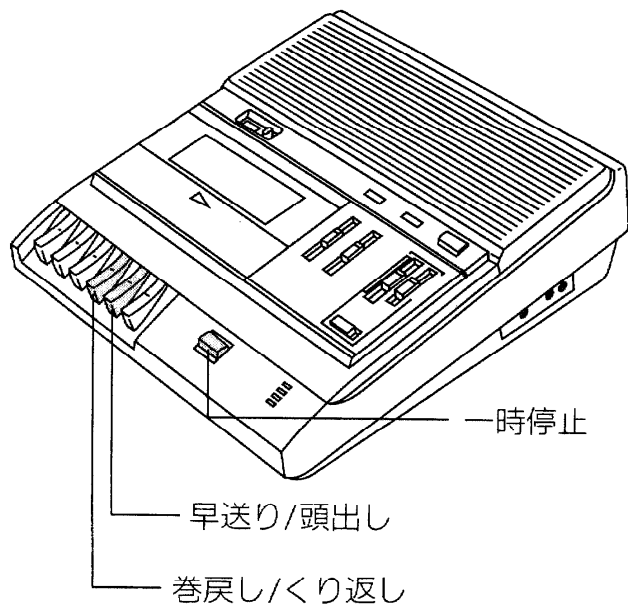
イヤホンで聞くには

モノラルイヤホン(別売り)をMONITOR端子に接続する。

付属のテレホンピックアップをイヤホンとして使うこともできます。(7ページ参照)

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

テープを聞く



聞きたいところを探す

再生中に押し続けると、キュルキュルという音を聞きながら早送り、巻戻しができます。指を離すと、その位置から再生します。



今聞いた場所をくり返して聞きたいときに便利です。



次の曲の頭出しや、聞きたいところを探すときに便利です。

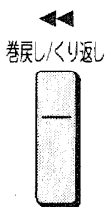
早送り・巻戻しする

早送り



停止中に押す。

巻戻し




停止中に押す。

- 早送り・巻戻しが終わったら、必ず停止ボタンを押して、押し込まれたボタンを戻してください。


ご注意

- 早送り、巻戻しをするときは、VSC、テープスピード切換つまみを“4.8”に切り換えてください。“2.4”の位置では時間が長くかかります。
- 早送り、巻戻し中は再生ボタンを押さないでください。テープが巻き込まれるおそれがあります。

テープの走行を一時的に止めるには

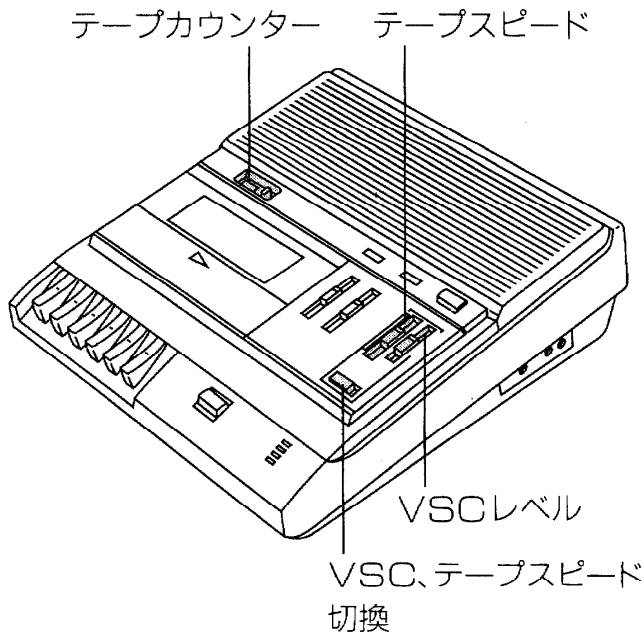
■一時停止  押す。(一時停止)

解除するには

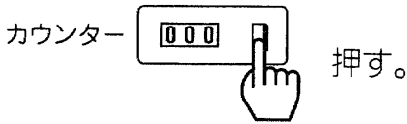
■一時停止  もう一度押す。

ご注意

一時停止状態で、長く放置しないでください。

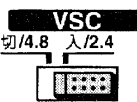


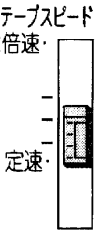
テープカウンターの数字を“000”に戻すには

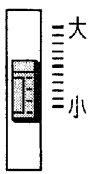


テープスピードを速めて聞く

2.4cm/秒で録音されたテープは、再生時にテープスピードを速めて聞くことができます。また、VSC(バリアブルスピーチコントロール) レベルを調整すると、テープスピードが変わっても自然な音質で聞き取ることができます。朗読テープを早聞きするときなどに便利です。

①  VSC、テープスピード切換つまみを“入/2.4”にする。

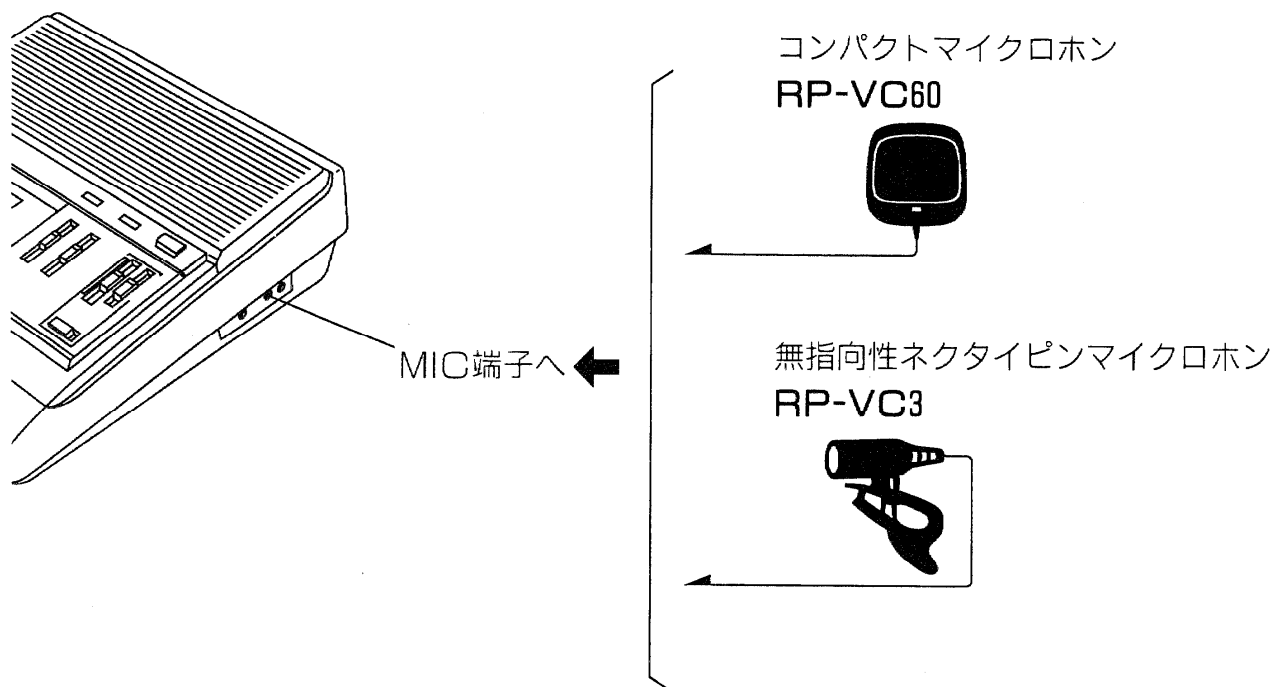
②  好みのテープスピードに調整する。

③  VSCレベル 最も聞きやすい音質に調整する。

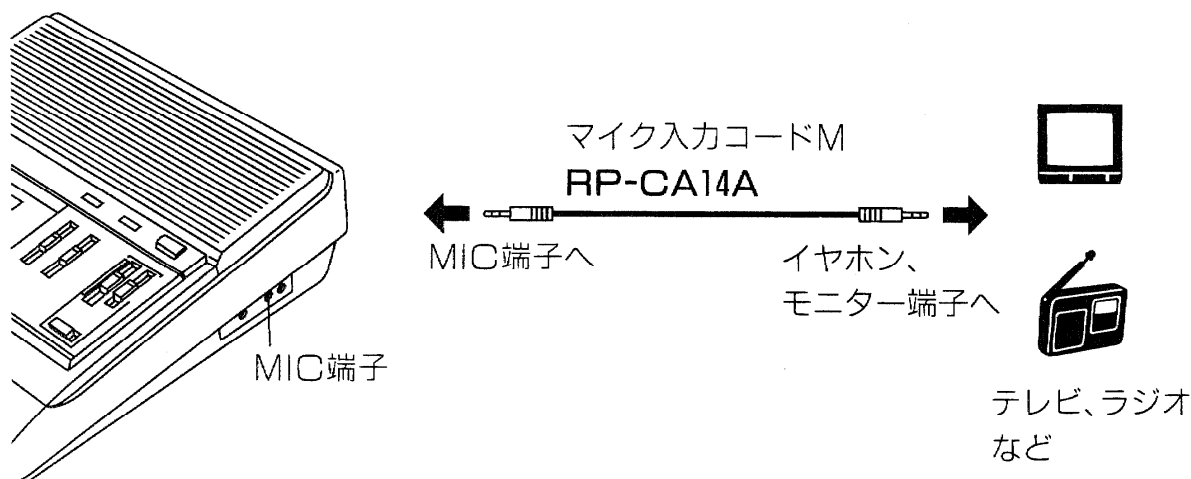
ご注意
VSCレベル調整つまみを“小”位置に戻したときや、“小”位置から動かしたときに雑音が出ますが異常ではありません。

別売り品と組み合わせて使う

マイクから録音するとき



テレビ、ラジオなどの音を録音するとき



詳しくは、各別売り品の取扱説明書をお読みください。

使用テープについて/お手入れ

使用できるテープの種類

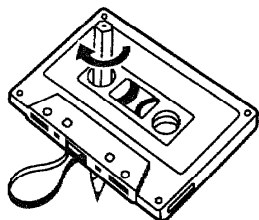
ノーマルタイプのテープをご使用ください。クローム、メタルタイプなどのテープを使用すると、本機の性能を十分に発揮できないことがあります。

■90分を超えるテープについて

長時間の使用には便利ですが、テープが薄く伸びやすいため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しなどをくり返すと、テープが回転部分に巻き込まれることがありますので、ご注意ください。

テープのたるみは巻き取ってください。

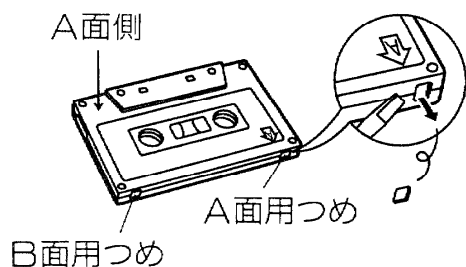
テープに傷がついたり、切れる原因になります。



録音済みテープを誤って消さないために

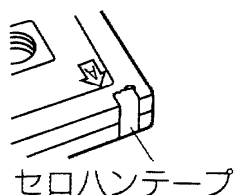
つめを折り取ってください。

ドライバーなどで折り取る。



■もう一度録音するには

つめを折り取った部分にセロハンテープを貼って穴をふさぐ。



テープを保管しておくとき

テープに付属しているケースに入れて保管してください。

次のようなところに保管することは避けてください。

- 直射日光のあたるところ
- 高温(35°C以上)、高湿(80%以上)のところ
- 磁気のあるところ(スピーカーの近くや、テレビの上など)

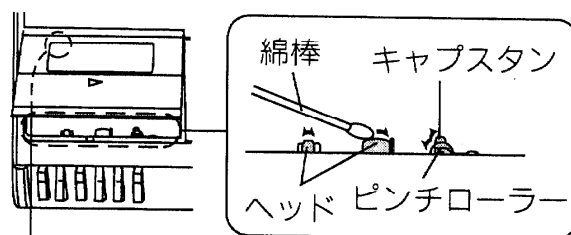
本体のお手入れ

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水か石けん水を含ませた布でふき、後は空ぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用のときは、その説明書をご覧ください。

ヘッド部のお手入れ

よい音でお楽しみいただくために、ときどきヘッドなどをヘッドクリーニングキット(RP-919、別売り)できれいにしてください。カセットふた内部の消去安全レバーを指で押さえながら、録音ボタン、再生ボタンを押すと、ヘッド部が上がります。



消去安全レバー

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしてもなおらない場合や、この表以外の症状は、日本点字図書館 用具事業部にご相談ください。

こんなときは	ここをご確認ください	処 置	参照 ページ
テープが走行しない。	一時停止状態になっていませんか。	一時停止状態を解除する。	5、10
早送り・巻戻しが遅い。	カセットテープの回転が重くありませんか。	新しいテープを使用する。	10
	テープスピードが2.4cm/秒になっていませんか。	テープスピードを4.8cm/秒に切替える。	
再生音が早すぎる（遅すぎる）。	テープスピードの切替を間違えていませんか。	録音時と同じテープスピードに切り換える。	8、11
	VSC、テープスピード切替つまみが“2.4”の位置でテープスピード調整つまみが“2倍速”になっていませんか	テープスピード調整つまみを“定速”または好みの位置に合わせる。	11
テープスピード調整つまみが働かない。	VSC、テープスピード切替つまみが4.8cm/秒になっていませんか。	2.4cm/秒に切り換える。	11
再生音が聞き取れない。	VSCレベル調整つまみは正しく調整されていますか。	正しく調整する。	11
録音できない。	カセットテープのつめを折っていませんか。	折った部分にセロハンテープを貼る。	13

- 本機を0°C前後から急に暖かい場所へ移したとき、正常に動作しないことがあります。これは、本機の動作部に露が発生したためで、60分程で正常に戻ります。
- 本機を他のラジオやテレビなどの電気機器の近くで使用すると、互いに干渉しあって雑音が入ることがあります。

アフターサービス

保証書（別に添付してあります。）

保証書は、必ず「お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、日本点字図書館 用具事業部から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

保証期間——お買い上げ日から1年間

修理を依頼される時

14ページの「故障かな!？」に従って調べていただき、直らないときは、日本点字図書館 用具事業部に修理をご依頼ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えて日本点字図書館 用具事業部までご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは

日本点字図書館 用具事業部へご依頼ください。

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

この期間は、通商産業省の指導によるものです。

アフターサービスなどについて、 おわかりにならないとき

日本点字図書館 用具事業部にお問い合わせください。

定格

トラック方式 : モノラル
録音方式 : 交流バイアス
消去方式 : マグネット消去
スピーカー : 6.5cm、円型、6Ω
周波数範囲 : 150-7000Hz(ノーマルタイプ、4.8cm/秒時)
入力端子 : マイク; 0.25mV、(600Ω)
出力端子 : モニター(8Ω)
実用最大出力 : 600mW×1(EIAJ)
電源 : AC100V、50/60Hz
消費電力 : 5.5W
最大外形寸法 : 213(幅)×89(高さ)×242(奥行)mm(EIAJ)
重量 : 約1.6kg

電源「切」時の消費電力…… 約0.7W

この定格は、性能向上のため変更することがあります。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お買い上げ日	年 月 日	品 番	RQ-8150
--------	-------	-----	---------

販売 社会福祉法人 日本点字図書館 用具事業部
〒169 東京都新宿区高田馬場1-23-4 ☎ (03)3209-0751

製造 松下電器産業株式会社 オーディオ事業部
〒571 大阪府門真市松生町1番4号 ☎ (06) 909-1021

RQTK0021-T
F0494N0